

令和4年度事業報告書
令和4年4月1日より令和5年3月31日まで

公益財団法人 現代芸術振興財団

はじめに

「現代アート」は、歴史も浅く、作品の展示機会は相対的に乏しく、一般市民の認知を十分に得られていないのが現状である。この現状を踏まえ、現代芸術を普及させるべく現代アート芸術展の開催による現代芸術の普及と、コンクール形式により将来性のある若手芸術家を発掘する表彰事業を今年度も行った。今年度も円滑な法人運営のため、法人基盤の確立に力を入れるとともに、継続的に行える活動として2つの事業を柱とした。

1. 事業

(1) 現代アート芸術展の開催による普及事業

広く一般市民に、現代アート芸術に触れる機会を提供するため現代アート芸術展を開催した。

芸術展開催による現代芸術を身近に感じる機会を提供することで、より多くの人々が現代芸術に対する理解を深め、豊かで創造性のある暮らしを営むことができた。そして、芸術展開催を継続することによる現代芸術の振興を図り、普及事業の目的を達成した。

また、少しでも多くの人に現代アート作品に触れてもらうべく、東京にある当財団事務所のギャラリースペースにて入場無料で開催した。

◆ ジャン・プルーヴェ展 椅子から建築まで（共催）

日時：令和4年7月16日（土）～令和4年10月16日（日）

場所：東京都現代美術館

入場料：一般 2,000円 / 大学生・専門学校生・65歳以上 1,300円 / 中高生 800円 / 小学生以下無料（財団は運営協力のみ、収益はなし）

◆ CAF OFFICE EXHIBITION Vo.6

日時：令和4年10月25日（火）～令和4年12月20日（火）

場所：現代芸術振興財団事務所

入場料：無料

	作品名	作者
1	annunciata	Suzan Frecon
2	Untitled	Mai-Thu Perret
3	Think no thought and all is flawless, In front, agate; behind, pearls	Mai-Thu Perret

(2) 現代アートの表彰事業

現代アートの芸術家を取り巻く環境は、社会的支援やマーケットの育成など、国や市民レベルの意識を高める必要性はよく指摘される場所であるが、日本ではまだまだ厳しい現状にある。このような現状から、コンクール形式により将来性のある若手芸術家を発掘し、表彰及び作品発表の場を提供することで、わが国の現代アートの振興に寄与した。今年度も全国の学生を対象としたCAF・アート・アワード賞（以下CAF賞）を設定し現代アートの表彰事業を行った。また、昨年のCAF賞の最優秀賞の稲田和巳も副賞の個展開催の機会を利用し展示を行った。会場はいずれも各都道府県の公益施設及びギャラリースペースを利用することで、全国の一般市民がゆったりと十分なスペースで鑑賞出来るように配慮した。

ミッドキャリアのアーティストを対象としたCAF・アーティスト・アワード賞（以下CAFAA賞）は、2023年1月に2022年度の作品公募を開始、現在（2023年4月）は精査及び作品審査を行なっている。

◆CAF・アート・アワード（CAF賞）

CAF・アート・アワード賞は、日本全国の高校・大学・大学院・専門学校の学生を対象とした賞である。全国の学生から作品を公募し、選考委員会に置いて選出した12組の入選作品を芸術展で展覧し、CAF賞の受賞者を決定した。展覧会日時、選考委員は下記とした。

CAF賞2022

日時：令和4年11月29日（火）～令和4年12月4日（日）

場所：代官山ヒルサイドテラスF棟ヒルサイドフォーラム

入場料：無料

[CAF賞2022選考委員会]

美術手帖総編集長 岩淵 貞哉

現代美術キュレーター 金澤 韻

彫刻家 名和 晃平

滋賀県立美術館ディレクター 保坂 健二郎

[入賞者一覧]

	賞	氏名
1	最優秀賞	SAREENA SATTAPON
2	岩淵 貞哉賞	SHU BROWN
3	金澤 韻賞	みょうじなまえ
4	名和 晃平賞	宇留野 圭
5	保坂 健二郎賞	藤原 彩芽
6	優秀賞	花形 槇

◆ CAF・アート・アワード（CAF 賞）2021 年度最優秀賞副賞個展

稲田 和巳個展「潮」

日時：令和 5 年 2 月 18 日（土）～令和 4 年 4 月 8 日（土）

場所：現代芸術振興財団事務所、

入場料：無料

	作品名	作者
1	潮	稲田 和巳
2	Instant Sympathy - Roppongi	稲田 和巳

2. 庶務・管理

(1) 理事・監事に関する事項

理事定数 3 名以上 6 名以内 現在 3 名 任期 2 年

監事定数 1 名 任期 2 年

役職	氏名	勤務形態	就任年月日	職務
代表理事	前澤 貞之	非常勤	令和 4 年 6 月 30 日	公益財団法人 現代芸術振興財団 理事長
理事	佐藤 有美	〃	〃	株式会社経済界 代表取締役社長
理事	小林 武史	〃	〃	株式会社 OORONG-SHA 代表
監事	亀岡 隆幸	〃	〃	株式会社 MID ストラクチャーズ パートナー 税理士

(2) 評議員に関する事項

評議員定数 3 名以上 6 名以内 現在 3 名 任期 4 年

役職	氏名	勤務形態	就任年月日	職務
評議員	石坂 泰章	非常勤	令和 2 年 6 月 26 日	株式会社サザビーズ 代表取締役
評議員	片山 正通	〃	〃	株式会社ワンダーウォール 代表取締役
評議員	頼近 恵子	〃	〃	株式会社 SYLPH CREATION 代表取締役社長

(3) 職員について

区分	氏名	勤務形態	職務
事務局長	久住 拓寛	常勤	公益財団法人 現代芸術振興財団
ディレクター	渡部 ちひろ	常勤	公益財団法人 現代芸術振興財団
アシスタント ディレクター	笠島 由翔	常勤	公益財団法人 現代芸術振興財団
アシスタント	井上 菜月	常勤	公益財団法人 現代芸術振興財団

(4) 会議に関する事項

①理事会

開催年月日	場所	議事事項	結果
令和4年6月1日	財団事務所	1. 令和3年度事業報告及び収支決算報告承認の件 2. 理事の執務実行状況の確認の件 3. 評議員会招集の件	可決
令和4年6月30日	財団事務所	1. 代表理事、理事、及び監事の選任に関する件	可決
令和5年3月3日	財団事務所	1. 令和5年度事業計画及び収支予算等承認の件 2. 令和4年度時期繰越金の件 3. CAF 賞選考結果報告の件 4. CAF 賞選考委員会選任の件 5. CAFAA 賞選考委員選任の件 6. 評議員会招集の件	可決

②評議員会

開催年月日	場所	議事事項	結果
令和4年6月24日	財団事務所	1. 令和3年度事業報告及び収支決算報告承認の件 2. 理事の執務実行状況の確認の件 3. 理事及び監事の選任に関する件 4. 臨時理事会招集の件	可決
令和5年3月24日	財団事務所	1. 令和5年度事業計画及び収支予算等承認の件 2. 令和4年度時期繰越金の件	可決

(5) 内閣府 公益法人行政担当への届出

届出年月日	届出内容
令和4年6月17日	事業報告書等の提出
令和5年3月28日	事業計画書等の提出

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。